

東京YMCA

5
2020年

東京YMCAの使命

東京YMCAは、イエス・キリストによって示された愛と奉仕の精神にもとづいて、青少年の精神、知性、身体的全人的成長を願い、地域社会に奉仕し、公正で平和な世界をつくるための運動を展開する。

新型コロナウイルス禍 — その先の世界へ

世界YMCA同盟総主事 オンラインメッセージ



世界YMCA同盟総主事
カルロス サンヴィー氏
(トーゴ出身)

新型コロナウイルス禍が世界中に広まる中、各国のYMCAはどのような状況なのか。YMCAがすべきことは何か。全世界のYMCA指導者たちは3月からオンラインでの協議を重ねています。その協議の中で発信された、世界YMCA同盟総主事カルロス・サンヴィー氏のメッセージをご紹介します。

(翻訳: 日本YMCA同盟/要約: 東京YMCA広報室)

新型コロナウイルスにより世界中のYMCAが深刻な影響を受けています。多くのYMCAが会館を閉鎖し、特に北米ではたくさんのスタッフが仕事を失っています。もとも財政基盤の弱かったYMCAの中には、解散の危機に直面している所もあります。

しかし調査したところ、多くのYMCAがそれぞれのコミュニティの支援のために立ち上がっていることもわかりました。カリフォルニアのYMCAでは、危機的状況にあるご家庭のために食料援助や精神的ケアを行なっています。ドイツでは教会と協働して、病気の買物など日常生活をサポートしています。シエラレオネはエボラ出血熱の経験を活かして、スタッフ約100人が地域の健康教育を行なっており、イタリアでは無料のデジタルアフタースクールや家庭学習を提供しています。それぞれに新しい方法で社会を元気づけようと試みている

ことを、私は誇りに思います。今、私たちは社会的つながりの促進を、物理的には人と距離を置かなければならませんが、人とのつながりを大事にしてきたYMCAは、今こそ社会的つながりを促進していかねばなりません。YMCAは「精神・知性・身体」を育てていくため



↑ オンライン上で語るカルロス氏。

出典: 世界YMCA同盟YouTube「Resilient YMCAs Leaders Talk」。



* 3月27日カルロス氏のメッセージは日本語字幕付きでご覧いただけます。(38分。翻訳: 日本YMCA同盟)
<https://www.youtube.com/watch?v=0Z2UWAFfWeY&t=278s>



↑ 薬を配布する南アフリカYMCAスタッフ(写真左)。消毒を呼びかけるバングラデシュYMCAボランティア(写真右)



* 世界YMCA同盟のホームページは、英文ではありますが、各国の取り組みが写真でもご覧いただけます。
<https://www.ymca.int/covid-19/>



の団体です。直接会ってプログラムをすることはできなくても、つながり続け、人を育てていく。それがYMCAの仕事です。この危機的な状況の中でつながりを保証し、つながりのモデルとなるべきです。

モデルチェンジのチャンスとして

これは世界的な危機ですが、どんな危機にもチャンスはあります。YMCAでは健康プログラムをオンラインで提供するなど、いろいろな活動を始めています。一方でパソコンや携帯のない多くの人々に対しては何か

できるか、皆で力を合わせて工夫していかねばなりません。若者たちの創造力に期待しています。

未来はどんなに急速に変わっています。YMCAもコミュニケーションのニーズの変化に合わせて変わっていかなければなりません。社会が新型コロナウイルスの緊急対応から長期的

世界中のYMCAの皆さんへ

YMCAは175年の歴史の中で、数々の危機的な状況乗り越えてきました。両世界大戦、内戦、災害、感染症、さまざまな困難に対して力を合わせながら、もつとも

弱い人々を支援し、復興運動を展開してきました。私たちは「レジリエント」、つまりどんな衝撃にも耐えられる柔軟性を持ち、回復する力をもっている組織です。お互いに助け合い、ミツシヨンの炎を燃やし続けていきましょう。

新型コロナウイルスによる危機は長引きそうですが、一緒にこの道を行きましょう。希望を失ってはいいけません。We shall overcome. (讃美歌21『勝利をのぞみ』より)。この状況を克服しなければなりません。そしてよりよい社会を築いていきましょう。

ある。旧約聖書(ミカ書6章8節)に出てくる言葉である▼人間は自分中心になつてはいけません。正義を行い、慈しみを愛し、へりくだって神と共にあゆむことだと預言者ミカは書いています▼この3月、ドイツのメルケル首相のコロナ危機に関する演説を見た。「いのちを守る」ことが第一だとの決断に胸が打たれた。「普段めったに感謝されることがない人にもお礼を言わせてください。スーパーのレジ係、商品棚を補充してくださる方々。この人たちは今、最も困難な仕事を担ってくれています。仲間である市民のために尽くし、生活を支えてくれてありがとう」と。エッセンシャルワーカーへの気配りを怠らず、市民のつながりによって「いのち」を救おうと訴えた▼三密を避けながらも、人は深いところで「いのち」のつながりを感じつつつよくなる。神が語る愛と正義とは、今、つながりを深める「いのち」の連帯である。弱さを認めあつてつながること、そこに「いのち」の深さを知りより強く生きる気持ち湧いてくる。(名誉会員 坂口順治)

赤三角

▼大関に昇進した朝乃山の化粧まわしには「愛と正義」と記されている。母校富山商高の同窓会から贈られた校歌の一節である。旧約聖書(ミカ書6章8節)に出てくる言葉である▼人間は自分中心になつてはいけません。正義を行い、慈しみを愛し、へりくだって神と共にあゆむことだと預言者ミカは書いています▼この3月、ドイツのメルケル首相のコロナ危機に関する演説を見た。「いのちを守る」ことが第一だとの決断に胸が打たれた。「普段めったに感謝されることがない人にもお礼を言わせてください。スーパーのレジ係、商品棚を補充してくださる方々。この人たちは今、最も困難な仕事を担ってくれています。仲間である市民のために尽くし、生活を支えてくれてありがとう」と。エッセンシャルワーカーへの気配りを怠らず、市民のつながりによって「いのち」を救おうと訴えた▼三密を避けながらも、人は深いところで「いのち」のつながりを感じつつつよくなる。神が語る愛と正義とは、今、つながりを深める「いのち」の連帯である。弱さを認めあつてつながること、そこに「いのち」の深さを知りより強く生きる気持ち湧いてくる。(名誉会員 坂口順治)

「緊急事態宣言」下の 東京 Y M C A

■保育園／こども園



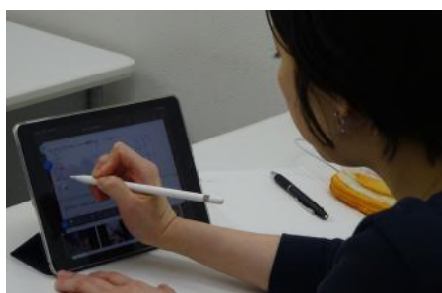
認可保育園とこども園は、行政の要請により4月から自粛運営を始め、4月中旬には原則として休園や登園自粛となりました。休園中は、どうしても保育が必要なご家庭のみ、専用の申込書を提出した上で応急保育(給食なし、お弁当おやつ持参)を利用することとなり、各園ともに数人ずつが利用しています。また、お休み中のご家庭には、担任から電話をして、現状を確認したり、子どもたちと話したりしています。(写真は「保育園ねがい」の花壇。世田谷ワイズメンズクラブの方が植えてくださった花がきれいに咲いて、園児たちの登園を待っています。)

■幼稚園



4月から休園中の江東 Y M C A 幼稚園では、4月生まれの子どもたちに教職員がお誕生日の歌を歌って動画で配信したり、新しいおもちゃや園庭の昆虫の写真などを日々ホームページ上で発信するなどして、子どもたちの在宅生活を応援しています。また虹の絵を募集して、園の外堀に飾ったり園庭にこいのぼりを掲げるなどして、道行く人にも応援メッセージを届けています。

■専門学校／各種学校



東京 Y M C A の各学校(国際ホテル専門学校、社会体育・保育専門学校、医療福祉専門学校、高等学院、インターナショナルスクール)は、いずれも3月中旬から休校しています。入学説明会やオープンキャンパスも動画で配信したり、LINEを活用するなどして対応しています。

●にほんご学院は、4月からの新入生51名中45名が未だ入国出来ず、母国で待機中です。継続生(在校生)53名は、4月9日(木)に時間を短縮して授業のオリエンテーションを実施しました。クラスメイトや先生と久しぶりに再会できたことで、学生たちにも笑顔がこぼれました。4月中はオンラインによる面談・課題配布等を行い、学生のモチベーション維持、状況把握に努めています。

●オープンスペースlibyは4月から、限定公開のYouTubeチャンネルを始めました。5月からはweb上の居場所も開室しています。

●高等学院は公式LINEを使って毎日コミュニケーションを図っています。5月からはzoomによるオンラインサポート授業を始めました。

新型コロナウイルス感染症がパンデミックとなって世界中に広がり、人々は当たり前の社会生活を送れないという異常な事態になっています。緊急事態宣言が延長され、東京 Y M C A も一部オンラインで授業や会議を行っていますが、学校、コミュニティーセンター(キャンプ、プール、英会話など)、野外施設、行政協働事業などは業務を休止し、スタッフは自粛生活を余儀なくされています。

その中でチャイルドケア事業(保育園、幼稚園、こども園など)、およびアフタースクール事業(児童館、学童クラブ、放課後デイサービスなど)のスタッフは、医療従事者、警察、消防、物流、生活必需品を販売するお店の従業員など、自粛したくてもできない方の子どもたちを預かり、自らも感染の危険にありながら間接的に社会を支えています。またこれらの事業を他部門からも支えようと、スタッフによる応援隊が組織され助け合う姿も見られます。

今全国の Y M C A では、「はなれていても つながっている キャンペーン」を行っています。これは、「今はお互いのいのちを守るために一時、離れ離れにならないといけないけれど、私たちの心はいつもつながっているよ、だから安心して」というメッセージを広く社会に発信しようという運動です。Y M C A の A はご存知のように「アソシエーション」(共通の目的や関心をもつ人々が、自発的に作る集団や組織、仲間)です。その意味で Y M C A は「3密」をむしろ推進したい団体ですが、今はそれが許されません。しかし何とか知恵を絞ってこの苦難を乗り越え、暗闇を照らす Y M C A 運動の火を絶やさないようにしたい、それが私たちの願いです。

新約聖書の「ローマ人への手紙第5章3節」に次のような箇所があります。

「わたしたちは知っているのです、苦難は忍耐を、忍耐は練達を、練達は希望を生むということ。希望はわたしたちを欺くことはありません。」

東京 Y M C A 総主事 菅谷 淳

■港区芝浦アイランド児童高齢者交流プラザ／芝浦学童クラブ



学童クラブは利用自粛が続き、交流プラザでは利用中止となっています。

そんな中、学童クラブにきている子どもたちが、お休みしている友だちや、日ごろ交流プラザを利用している高齢者の皆さんにも見てほしいと、窓に虹を装飾する取り組みを始めました。窓枠いっぱいに虹の貼り絵を飾ったところ、道行く方々にも好評で、手を振って応えてくださる方、大きな丸を作ってくれる方など、嬉しい挨拶が交わされています。

■オルタナティブ事業 (障がい児プログラム)

障がいのある子どもたちの「放課後等デイサービス P I T 西早稲田」では、休止中も相談窓口を設け、またスタッフメッセージを撮影した動画を配信するなど、外出制限の続く親子をサポートしています。

●山手センターの野外グループ活動「きらきら・はらっぱ」のボランティアリーダーたちは、各自の「おうち時間」を紹介する動画を送って楽しい過ごし方を提案。メンバーたちを励ましました。

●発達障がいのあるこどもの支援クラス「A S C A」は5月からオンラインでのクラス再開を予定しています。

■コミュニティーセンター



都内5カ所のコミュニティーセンターは、いずれも緊急事態宣言を受けて5月31日まで休館。野外グループ活動や水泳、体操などのウェルネスプログラムを始め、野外グループ活動、英会話クラスほか各種の会員活動も中止となりました。

そんな中で各センターは、在宅で過ごす会員・メンバーに向けて、さまざまな試みを行っています。

●江東コミュニティーセンターでは、毎週動画を撮影して配信中です。(3面参照)

●西東京コミュニティーセンターでは、野外グループ活動のボランティアリーダーたちが、子どもたちや会員に手作りのスゴロクをプレゼント。保護者からは、「各コマのコメントがリーダーの楽しいメッセージでできていて、親も一緒に楽しませてもらいました」など、好評でした。

●東陽町コミュニティーセンターでは、童謡や唱歌を歌う「Yわい歌の広場」の参加者に歌詞カードと折り紙を送付。再開した時に折り鶴を持参して千羽鶴を作ろうと呼びかけています。

また子ども食堂「下町こどもダイニング」のボランティアたちは、東陽町センターの会館裏を耕して菜園を作り始めました。収穫した野菜を子どもたちと食べる日が待ち望まれます。(写真)

"Stay Home"に ～Y M C A 動画集～

「はなれていても つながっている」

*動画は、ケータイでQRコード⇒
を読み取ってご覧ください。読み
とれない場合は、東京YMCAホ
ームページからご覧ください。
http://tokyo.ymca.or.jp/

■「みんなで歌おう」

学生ボランティアリーダー作



江東コミュニティセンターのボラン
ティアリーダーとスタッフ25人が、子ども
たちに元気を届けたいと、キャンプソ
ング『ズンゴロ節』の振り付け動画を作り
ました。『ズンゴロ節』は1975年に東京YMCA職員
だった浅羽俊一郎さんが作詞作曲した曲で、YMCA
以外でも広く親しまれている名キャンプソングです。



■「おやこであそぼう」ほか

江東コミュニティセンター



江東センターのスタッフた
ちは毎週、子ども向けの動
画を配信しています。「お
やこであそぼう」「体幹体
操」「絵描き歌」「サッカートレー
ニング」など。ぜひ活用ください。



■「英語で歌おう」

International Kids Garden



英語で保育をしている
「東京YMCAインター
ナショナルキッズガー
デン」の先生たちが、歌
「幸せなら手をたたこう～YMCAバ
ージョン」と、絵本の読み聞かせの動
画を配信しました。



■新沢としひこさん Youtubeライブ

アスクミュージック共同企画



シンガーソングライターで児童文学作家の新沢としひこさんが、4月12日のイ
ースターにYoutubeライブ「きっと明日はいい天気」を開催。その後もYMCAの
子どもたちの写真や絵を背景に、ご自身のヒット曲「せかいじゅうの子どもたち
が」「にじ」「かめのえんそく」を歌ってくれました。心温まる傑作選です。

■全国YMCAの動画

日本YMCA同盟



日本YMCA同盟では、各地のYMCA
Aによる動画をまとめ、上記サイトで
発信しています。遊びや運動、英会話
など、各地のYMCA
Aによる取り組みが
一望できます。



ご参加ください

東京YMCAは下記のプロジェクトを応援しています。

■虹の絵と歌で世界にエール 「ニジノエール」



虹の絵や歌を投稿して、世界にエールを
送るプロジェクトです。ハッシュタグ
「#ニジノエール」「#はなれてもつな
がっている」をつけて投
稿すれば、誰でも参加で
きます。YMCAの園児
・学童も参加中です。



■#うちの食卓親子の日普及推進委員会



"おうちで過ごそう ～Stay Home～"を合
言葉に、食卓風景写真を投稿するプロジ
ェクトです。家で過ごす時間を少しでも
創造的に、少しでも幸せに
と願って、東京YMCAも
応援しています。



■オンライン相談「ちえぶくろ相談室」



「子育てBOOK」の編集・執筆に携わった
小児科医や精神科医など4人の専門家
が、オンラインで相談を受け付けていま
す。悩みごと、気になる
こと、人生相談など何で
も気軽に相談ください。



東京—NY フロストバレー便り

ニューヨーク州では3月初旬から新型コ
ロナウイルスの感染がジワジワと広がり、
3月中旬には爆発的に感染が拡大し、在宅
勤務、外出自粛等に関する行政命令が発令
されました。それから約2か月が経とう
としていますが、依然として生活必需のスー
パー、薬局、郵便局、ガソリンスタンドな
どの営業のみに限られ、すべての飲食業は
営業停止またはテイクアウトのみの営業と
なっており、いわゆる「ロックダウン」が
続いています。

東京-フロストバレーYMCAパートナ
ーシップは、自粛生活が長引き自宅で過ごす
時間が長くなった子どもたちのために、4
月20日からオンラインでのプログラム提供
をスタートしました。平日に1日3コマ、
およそ30～60分の時間を設定し、高校生・
大学生のボランティアリーダーとスタッフ
の進行のもと、体操やエクササイズ、ア
ーツ&クラフト、ゲーム&レクリエーシ
ョン、キャンプソングなどを実施しており、
毎週120人程の子どもたちが参加してい
ます。毎日同じ時間にプログラムを実施す
ることで崩れがちな生活リズムを整え、学
校と家庭以外の友人と繋がる機会となっ
ています。子どもたちがプログラムに参加し



↑NYの子どもたちが贈ってくれた
応援メッセージ動画。



ている間、短い時間ではありますが保護者
の方はゆったりと過ごせるとの声も寄せら
れています。今後は広くNY周辺に住む日
本人コミュニティの皆さんにご参加いた
だきたいと思っています。

また先日、日本とNYに住む人々が繋がり
励まし合える機会を作ろうと、NY在住
のYMCAプログラム参加者やリーダー
に、日本の方々への励ましと共感のメッセ
ージを募集し、スライドショーにまとめて
送りました(写真)。遠く離れた場所にお
りますが、思いや願いを一つにし、この困
難な時を共に歩めることを嬉しく思いま
す。

(東京-フロストバレーYMCA
パートナーシップ 鳩山 徹郎)